

2026 年 8 月 10 日
北海道心理学会会員各位

北海道心理学会第 73 回大会準備委員会
準備委員長 橋本 久美

北海道心理学会 第 73 回大会のご案内（第 1 号通信）

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、北海道心理学会第 73 回大会を 2026 年 11 月 22 日（日）に札幌国際大学において開催させていただくこととなりました。会員の皆様、関係の皆様方に心より感謝を申し上げます。

いま世界に目を向けますと、中東地域を中心に不穏な情勢がなお続いており、日本もまたその影響を資源・経済・社会生活のさまざまな面で受けております。将来を見通しにくい不確実な社会と言われる一方で、人工知能（AI）は目覚ましいスピードで社会に浸透し、活用の幅は飛躍的に広がっております。

こうした難しい時代において、AI の力が社会の困難な課題に真に寄与し得るのかどうか、改めて問われているのではないのでしょうか。

国内に目を転じますと、本年 7 月 28 日、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生し、最大震度 7 が観測されました（「令和 8 年熊本地震」、2016 年以来 10 年ぶり）。被災地では現在も救援・生活再建への支援が続く中、被災された方々のこころの回復と地域コミュニティの支えあいは、心理学に改めて突きつけられた重要な問いと受け止めております。

また、心理学の分野では、1990 年代より非対面療法の活用についての実証的な検討が始まり、また同じ頃に VR エクスプロージャーなど、テクノロジーを用いて従来の対面療法を拡張する試みも始まりました。北海道医療大学の故岩本隆茂先生は『非対面心理療法の基礎と実際』のご著書の中で、こうした非対面・遠隔での心理支援の展開と今日の VR コミュニケーションに至るまでを予見されていたと思われます。

本大会では、これらの問いと向き合うため、二つの企画を用意しております。

一つ目は、本学会と認定心理士の会との共催により、世界的にも VR・AR 活用のメンタルヘルス研究で知られる徳島大学大学院教授・山本哲也先生をお迎えし、ご講演を企画しております。

二つ目は、本学会と心理職能団体連絡協議会との共催シンポジウム「震災等の際の心のケアについて改めて考える―地域コミュニティを支える視点から―」です。本シンポジウムは、もともと震災後の地域コミュニティが果たす役割と、対面でのこころのケアの意義を問い直す場として、地震の発生に先立つ段階から企画されていたものです。奇しくも今般の震災の発生により、企画の持つ問題意識が一層切実な現実性のもとに立ち現れ、北海道の会場で議論することの重みは一層深いものとなりました。被災地支援の知見と重ね合わせながら、ローカルかつ対面でのコミュニティに根ざした心理支援の意義を議論してまいります。北海道もまた地震や豪雪をはじめ自然災害のリスクを抱える地域であり、ひとたび大規模災害が起きれば、地域コミュニティの支えあいと遠隔支援がともに重要となります。本シンポジウムでの議論は、当地の防災・減災とこころのケアの観点からも大きな意義を持つものと考えております。

VR・AR を活用した先端的な遠隔支援と、現場での直接的なかかわりという、真逆ともいえる方法論を一つの大会の中に並べているところにこそ、本大会の特徴と意義があると考えております。

本大会のテーマである「北海道の地域性に根ざした遠隔支援と対人コミュニケーションの可能性」は、テクノロジーの進展と地域のつながりという、一見対照的な二つの軸を、北海道という地域性を足がかりに改めて問い直すものです。多彩なプログラムを通じて、変動する社会と人間のこころ

の関わりについて、参会者の皆さまとともに、深く議論できる場となるよう準備を進めてまいりたいと存じます。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、多くの会員・関係者の皆様に札幌国際大学にお集まりいただき、実りある大会となりますよう、準備委員会一同、心よりお待ちしております。

記

■開催日：

2026 年 11月22日(日) 終日

■大会 Web サイト：

<https://sites.google.com/view/hsp73>

■会場：

札幌国際大学（北海道札幌市清田区清田 4 条 1 丁目 4 番 1 号）

地下鉄東豊線「福住駅」から：

中央バス「清田 2 条 1 丁目」下車、徒歩 8 分。中央バス「札幌国際大学前」下車、徒歩 5 分。

地下鉄東西線「南郷 18 丁目駅」から：

中央バス「札幌国際大学前」下車、徒歩 5 分。

※詳細は札幌国際大学 HP「交通アクセス」をご覧ください。

<https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=187>

※できるだけ公共交通機関をご利用ください。自家用車でお越しの方は構内駐車場をご利用いただけますが、台数に限りがあります。

■大会プログラム（予定）

1. 大会企画シンポジウム（北海道心理職能団体連絡協議会との共催）

「震災等の際の心のケアについて改めて考える―地域コミュニティを支える視点から―」

2. 招待講演（認定心理士の会との共催）

山本哲也先生（徳島大学大学院社会産業理工学研究部 教授）によるご講演

3. 一般研究発表（ポスター）

4. 学部生・高校生セッション（口頭発表）

5. 北海道心理学会総会

各プログラムの詳細およびタイムテーブルについては、大会 Web サイトおよび大会第 2 号通信（10月下旬配信予定）にてお知らせいたします。

※学部生・高校生セッション：

学部生の研究や高校生の「探究学習」等の成果を広く発表できる、参加しやすい発表機会を設けます。研究成果の共有・発展に加え、発表や意見交換を通して、将来の心理学研究を担う人材の育成をも目的とした企画です。発表者が一堂に会し、本会会員が司会進行をいたします。

発表条件を満たした大学学部学生（短大、高専生含む）は、大会参加費のみ（高校生は無料）で研究発表を行うことができます。なお、学部生・高校生セッションは、口頭発表のみとし、一般研究発表（ポスター）と同一の時間帯で開催されます。北海道心理学会の会員である学部学生は、学部生・高校生セッションまたは一般研究発表（ポスター）のいずれかを選択できます。

このセッションでは、完成した研究成果に限らず、研究のアイディア、構想など、これからの

心理学研究の萌芽となる発表も歓迎いたします。そのため、このセッションでの発表をもって正規の学会発表（研究業績）と扱われない点は、お含みおきください。

《発表条件》

- (1) 筆頭発表者が、大会当日において大学の学部等（短大、高専生含む）または高等学校に在籍していること。
- (2) 連名発表者に本会会員を含むこと。
- (3) 心理学に関連する内容であること。

■大会参加費（学生料金お申し込みの場合は当日学生証・生徒手帳をご提示いただきます）

※高校生は、「学部生・高校生セッション」で発表する場合も、無料で参加できます。

	早期申し込み (10月10日（土）まで)	通常申し込み (10月11日（日）～当日まで※1,2)
正会員（一般）	4,000円	4,500円
正会員（大学院生・学部生）	1,000円	1,500円
非会員（一般）	5,000円	5,500円
非会員（大学院生・学部生）	1,000円	1,500円

※1) 11月14日（土）以降は Payvent での決済手続きができないので、当日申し込みをお願いいたします。

※2) 大会当日の参加費は、現金のみ承ります。

■大会参加および研究発表申し込み方法について

1. 大会参加申し込みは事前に大会参加申し込みサイトよりお済ませください。事前申し込みは11月13日（金）をもって終了します。それ以降に参加を希望される方は、大会当日に受付でお申し込みのうえ、参加費を現金でお支払いください。

大会参加申し込みサイト：

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/6a508d61d522231e159b4382

※参加費支払い後キャンセルされる場合、11月13日（金）までに大会準備委員会事務局までご連絡ください。Payvent 所定の手数料（クレジット払い：金額の6%、銀行振込：返金振込手数料分）を差し引いて、返金致します。

2. 研究発表（学部生・高校生セッションを含む）申し込みは、大会参加申し込みと同時に、大会参加申し込みサイトよりお願いいたします。演題登録は、特段の手続を要しません。発表抄録原稿に記載されている演題を、登録演題といたします。発表抄録原稿は、11月6日（金）までに大会準備委員会事務局へメールで提出してください。

■大会参加および研究発表申し込みに関する注意事項

《大会参加について》

1. 大会参加の領収書及び当日の参加証は、大会参加申し込みサイトにおいて、申込完了後に Payvent から発行されます。各自でダウンロード・印刷してください。
2. 参加証はご自身で印刷し、大会当日にご持参ください。参加証を入れるネームホルダーは、受付でお渡しします。

3. 学生料金でお申し込みの方は、大会当日学生証・生徒手帳をご提示いただきます。

《研究発表申し込みについて》

4. 研究発表の申し込みは、大会参加申し込みサイトで参加の申し込みと同時に行ってください。

5. 研究発表の申し込みにあたっては、大学学部学生は、希望する発表カテゴリ（一般研究発表または学部生・高校生セッション）をお選びください。

《研究発表申し込み者へのお願い》

6. 一般研究発表で発表する筆頭発表者の方は、10月10日（土）までに学会年会費をお支払いください。期日までに年会費の納入がない場合は発表取り消しとなる場合があります。

7. 一般研究発表で発表を予定しているが、現在、北海道心理学会の会員ではない方は9月18日（金）までに学会への入会手続きをお済ませください。

8. 一般研究発表および学部生・高校生セッションの筆頭発表者の方は、11月6日（金）までに大会発表抄録原稿をご提出ください。期日を過ぎた場合は、北海道心理学会奨励賞の対象外となる場合があります（学部生・高校生セッションでの発表の場合は奨励賞の対象とはなりません）。原稿提出の方法については、大会 Web ページをご覧ください。

■懇親会について

懇親会は、11月22日（日）19時ころから、札幌駅周辺で開催予定です。詳細は第2号通信でお伝えいたします。

■大会関連重要スケジュール

- 8月10日（月） 大会参加&研究発表申し込み開始
- 9月18日（金） 研究発表を予定する筆頭発表者の学会入会申し込み締切
- 9月30日（水） 研究発表申し込み締切
- 10月10日（土） 大会参加申し込み早期割引終了
- 10月10日（土） 筆頭発表者の年会費振込み締切
- 10月20日頃 大会概要・大会仮プログラム公開
- 11月6日（金） 発表抄録原稿送付締切（この日を過ぎた場合、北海道心理学会奨励賞の受賞対象外となりますので、ご注意ください。）
- 11月15日頃 研究発表プログラム公開
- 11月22日（日） 大会開催

■問い合わせ先：北海道心理学会第73回大会準備委員会事務局 hokkaido.73rd@gmail.com